

継続申請の場合

第1号様式（第6条関係）

第 号
平成28年5月20日

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
理事長 様

（中小企業者又は中小企業以外の者）

申請者所在地 〒500 - 〇〇〇〇

岐阜市〇番地

団体名 岐阜産業（株）

代表者職氏名 代表取締役 商工 太郎 印

担当者職氏名 研究開発部長 商工 次郎

連絡先電話番号 058 - ××× - ××××

（農林漁業者）

申請者所在地 〒501 - 〇〇〇〇

関市〇番地

団体名 農事組合法人 美濃農業

代表者職氏名 代表取締役 農業 太郎 印

担当者職氏名 同上

連絡先電話番号 0575 - ××× - △△△△

平成28年度 公益財団法人岐阜県産業経済振興センター 岐阜県農商工連携ファンド
事業費助成金交付申請書

下記の事業を実施するにあたり、農商工連携ファンド事業費助成金の交付を受けたいので、公益財団法人岐阜県産業経済振興センター岐阜県農商工連携ファンド事業費助成金交付要領第7条の規定により関係書類を添えて申請します。

記

具体的事業名は40文字以内
で記載願います

- 1 具体的事業名
地元特産〇〇を活用した安全・安心なジャムの開発
- 2 助成対象の事業区分
新商品等開発・販売力強化事業
- 3 助成事業実施期間
平成28年8月1日 ~ 平成29年7月31日
- 4 助成事業に要する経費及び助成金交付申請額
助成事業に要する経費 金 3,533千円
助成対象経費 金 3,270千円
助成金交付申請額 金 2,180千円
- 5 助成金の交付窓口となる団体名
岐阜産業（株）

第2号様式

申請者の概要（岐阜産業（株））

事業者等の名称	岐阜産業（株）					
ホームページアドレス	http://www.gpc-gifu.or.jp					
所在地	〒500-0000 岐阜市〇番地					
代表者名	代表取締役 商工 太郎					
設立（予定）年月日	昭和41年4月1日					
資本金又は出資金	10,000千円					
一社の大企業又はその役員からの50%以上の出資の有無	無					
従業員数（会員数）	役員	従業員（人）				従業員のうち正社員
		事務系	営業系	技術系	合計	
	3	5	10	5	20	15
主たる業種	（主たる業種で、日本産業分類に準拠）					
主な事業内容（主な取扱製品又はサービス内容）	1 2 3					
決算状況（直近2期分）	区 分	直前期27年12月期			26年12月期	
	売上高	100,000千円			150,000千円	
	経常利益	△3,000千円			8,000千円	
	当期利益	△2,000千円			7,000千円	
経営上の強み（技術・経営ノウハウ等に関する自己アピール）	<ul style="list-style-type: none"> ・加工食品の開発技術・ノウハウ・情報 ・食品加工・製造に係る施設・機械器具備品 ・安定的かつ高品質の商品を加工、製造するための技術・ノウハウ・情報 ・加工食品の品質管理技術 ・加工食品の販路・顧客情報 					
経営環境及び現在の課題	<p>××を加工したフルーツゼリーを主に生産してきたが、近年、安い海外輸入品との競合の激化により取引価格の下落が続いており、より付加価値の高い新商品の開発及び販売が課題となっている。</p>					
連絡先	<p>担当者役職・氏名 研究開発部長 商工 次郎 担当者所属部署名 研究開発部 電話番号 058-277-1083 F A X 番号 058-277-1085 E-mail アドレス aaa@gpc-gifu.or.jp</p>					

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者ごとに作成願います。

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）又は農林漁業者が連携体の場合は、当該組織及び事業実施の中核となる事業者等の概要をそれぞれ作成願います。また、第2号様式別表及び当該組織の運営規約を添付してください。

第2号様式

申請者の概要（農事組合法人 美濃農業）

事業者等の名称	農事組合法人 美濃農業					
ホームページアドレス	http://www.					
所在地	〒501-0000 関市〇番地					
代表者名	代表取締役 農業 太郎					
設立（予定）年月日	昭和60年4月1日					
資本金又は出資金	3,000千円					
一社の大企業又はその役員からの50%以上の出資の有無	無					
従業員数（会員数）	役員	従業員（人）				従業員のうち正社員
		事務系	営業系	技術系	合計	
	2	3	1	4	8	5
主たる業種	（主たる業種で、日本産業分類に準拠）					
主な事業内容（主な取扱製品又はサービス内容）	1 2 3					
決算状況（直近2期分）	区分	直前期28年3月期			27年3月期	
	売上高	20,000千円			30,000千円	
	経常利益	△1,000千円			2,000千円	
	当期利益	△1,500千円			2,500千円	
経営上の強み（技術・経営ノウハウ等に関する自己アピール）	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品に適した〇〇の生産に必要な生産技術・肥培管理技術・ノウハウ・情報 ・当社の〇〇は、農薬や化学肥料を一切使わず、また、成分AAは、栽培での工夫により、他生産者の〇〇に比べ、多く含まれている。 ・平成〇〇年〇月「ぎふクリーン農業登録者認定」 ・農地、低温倉庫・トラクター等の機械器具備品 					
経営環境及び現在の課題	当地域で地元特産フルーツである〇〇の露地・ハウス栽培及び販売を行う中で、高付加価値化及び経営の安定化を目指すため、〇〇の加工食品への活用を含め、新たな事業展開が課題となっている。					
連絡先	担当者役職・氏名 代表取締役 農業 太郎 担当者所属部署名 電話番号 0575-〇〇-〇〇〇〇 F A X 番号 0575-〇〇-〇〇〇〇 E-mail アドレス aaa@〇〇〇〇.or.jp					

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者ごとに作成願います。

※ 中小企業者（又は中小企業者以外の者）又は農林漁業者が連携体の場合は、当該組織及び事業実施の中核となる事業者等の概要をそれぞれ作成願います。また、第2号様式別表及び当該組織の運営規約を添付してください。

役員等に関する事項（中小企業者）

申請事業者等の名称 岐阜産業（株）

職名	ふりがな 氏名	性別	生年月日（和暦）
代表取締役	しょうこう たくろう 商工 太郎	男	昭和25年1月1日
取締役	お お お お	女	昭和28年4月12日

- ※本調書は中小企業者（又は中小企業以外の者）と農林漁業者の以下に該当する方について作成する。
- ①法人の場合は、非常勤及びその他これに類する地位にある方並びに経営に実質的に関与している方
 - ②法人格を有しない団体にあつては、代表者及び経営に実質的に関与している方
（連携体等にあつては、各々の事業者における代表者及び経営に実質的に関与している方）
 - ③個人にあつては、その方及びその方に対し支配関係にある方

この書面によって、公益財団法人岐阜県産業経済振興センターが交付する助成金から暴力団等を排除し、助成事業の適切な執行を確保するため、申請事業者等が暴力団等に関係する者でないかを関係機関へ照会する場合があります。

役員等に関する事項（農業者）

申請事業者等の名称 農事組合法人 美濃農業

職名	ふりがな 氏名	性別	生年月日（和暦）
代表取締役	のぎょう ちろう 農業 太郎	男	昭和25年7月1日
取締役	〇 〇 〇 〇	女	昭和28年6月15日

- ※本調書は中小企業者（又は中小企業以外の者）と農林漁業者の以下に該当する方について作成する。
- ①法人の場合は、非常勤及びその他これに類する地位にある方並びに経営に実質的に関与している方
 - ②法人格を有しない団体にあつては、代表者及び経営に実質的に関与している方
（連携体等にあつては、各々の事業者における代表者及び経営に実質的に関与している方）
 - ③個人にあつては、その方及びその方に対し支配関係にある方

この書面によって、公益財団法人岐阜県産業経済振興センターが交付する助成金から暴力団等を排除し、助成事業の適切な執行を確保するため、申請事業者等が暴力団等に関係する者でないかを関係機関へ照会する場合があります。

事業計画書（2年目）

1 具体的な事業名

地元特産〇〇を活用した安全・安心なジャムの開発

2 助成事業の区分

新商品等開発・販売力強化事業

3 事業実施の目的・必要性

岐阜産業(株)は同業者から農事組合法人美濃農業を紹介され、話し合いを重ねる中で、これまで培ってきた食品加工技術やノウハウが活用でき、〇〇特有の食感を残すことが可能なジャムの開発を連携して行う計画を立案。

今後、平成28年12月を目処に、農薬や化学肥料を一切使わず栽培した〇〇を活用し、食品添加物や保存料を一切加えずに作った「安全・安心」なジャムの商品化及び販路拡大をするため事業に取り組む。

4 事業の具体的内容

◎中小企業者：岐阜産業（株）

1 研究開発

- ① 農事組合法人美濃農業が生産した安全・安心な〇〇を原材料とし、これまでに培った食品加工技術やノウハウを活用し、食品添加物や保存料無添加のジャムを試作。なお、大部分は既存の機械装置で対応可能だが、最終工程における瓶詰めのため、△△機械が必要となるが、リースで対応する。

<実施期間>平成28年8月～平成29年7月

- ② フルーツジャム作りに定評のある料理研究家に依頼し、〇〇を原材料としたジャムづくりの指導を受ける。

年4回実施予定。

<実施期間>平成28年9月～10月、平成29年1月～2月

- ③ 岐阜市内のデザイン会社に委託し、他社商品との差別化を図るため、〇〇の生産者、生産過程・種類及び成分を明示した商品パッケージ（外箱・ラベル）デザインの試作を行う。

<実施期間>平成28年10月～11月

2 求評会の開催

試作品について新商品開発のための求評会、〇〇〇料理教室での消費者向けの求評会を開催し、製品改良の情報収集を行う。求評会は農業者も参加し、〇〇の説明を行う。

<実施時期・実施場所>料理教室：平成29年1月、岐阜市

事業者向け：平成29年2月、名古屋市

◎農業者：農事組合法人美濃農業

1 研究開発

- ① 他の生産者の〇〇と比較して、ほとんど差がない××成分をより多く含ませるため、品種、◎◎を肥料とした有機栽培を行い、生産量の増加を図る。

なお、栽培後は〇〇大学の〇〇研究室に成分分析を委託。

<実施期間>平成28年8月～平成29年6月

- ② 農業コンサルタントから指導を受け、〇〇の収量増加、品質安定化などの安定供給体制構築に取り組む。2か月に1回実施予定。

＜実施期間＞平成28年8月～平成29年7月

5 事業の補足説明

(1) 事業の新規性、革新性

(中小企業者)

県産品〇〇を原材料とするジャムの製造は、全国初の取り組み。美濃農業が生産する〇〇のAA成分の高さをそのままに、岐阜産業の優れたジャム生産加工技術により、美濃農業が生産するAA成分の高さを損なうことなく、新たな食感や味を持つジャムの開発。

(農業者)

〇〇の栽培に適した土壌を開発するとともに、化学肥料や農薬の散布を従来の50%程度に抑え、安心・安全な〇〇を栽培する。

さらに、規格外の〇〇を冷蔵保存し、中小企業者のニーズに沿った供給ができるようにする。

(2) 助成事業に関する商品・技術・サービスの特徴や優位点（競合する商品等との相違点等）

- ・本事業で開発するジャムは、上記(1)のほか、地域限定で有機栽培した〇〇のみを原料に優れた食品加工技術・ノウハウを活用し、食品添加物や保存料無添加で製造することにより、競合する類似商品と比較して食の安全という観点からの訴求力を有している。

(例)

区 分	成分AA	成分××	満足度	販売予定価格
当社製品				円/g (見込)
他社A製品				円/g
他社B製品				円/g
他社類似C製品				円/g

[出展] 成分AA、成分××は当社の独自の調査

満足度については地元住民30人を対象とした試食会での評価

(3) 顧客・販路開拓方法

① 想定顧客（ターゲット層）

最終消費者では、食の安全安心や健康志向に関心が高い子育て中の家庭、中高年の女性。事業者向けではベーカリーレストランや〇〇〇〇を想定。

② 対象エリア

当面は従来の販路である名古屋を中心とするエリアに力をいれ、その後、首都圏等での売り込みを行う予定。

③ 販売価格

上記のとおり 販売予定価格 円/g

④ 販売・PR方法

従来の販路（岐阜、名古屋の大手小売店、食品専門店、道の駅、ベーカリーレストラン）による販売

口コミによる販路開拓

展示会への出展

自社ホームページでのインターネット販売

11 申請事業スケジュール（岐阜産業(株)、美濃農業）

区 分 項 目	岐阜産業（株）			両事業者 求評会の 開 催	美濃農業	
	研 究 開 発				研 究 開 発	
	試作品の 改 良	料理研究 家の指導	パッケー ジデザイ ンの委託		裁 培 基 準 による○ ○の栽培	農 業 コ ン サルタン トの指導
28年8月						2か月 に1回 指導
28年9月		月1回				
28年10月		月1回				
28年11月					成分 分析 調査	
28年12月						
29年1月		月1回				
29年2月		月1回				
29年3月					成分 分析 調査	
29年4月						
29年5月						
29年6月						
29年7月						

※主な取り組みのスケジュールを記入すること。

第2号様式—4（第6条関係）

収支予算書

収入の部（単位：円）

区 分	金 額	調 達 先	備 考
産経センター助成金	2,180,000 a		
自己資金	553,760	岐阜産業（株） 369,000 美濃農業 184,760	
借入金	800,000	〇〇銀行〇〇支店	
その他			
合 計	3,533,760 b		

支出の部（単位：円）

区 分	助成事業に 要する経費	助成対象 経 費	助 成 金 申 請 額	積 算 の 内 訳
◎岐阜産業（株） 研究開発費				
機械装置リース	540,000	500,000		△△機械リース料 @45,000円×12か月
謝金	324,000	298,000		料理研究家への謝金 @54,000円×6回
原材料費	205,200	190,000		ガラス製密封保存容器（求評会用） @2,160円×20個 連携農業者から〇〇の購入 @1,620/kg×100kg
委託費	108,000	100,000		パッケージデザイン委託費 （〇〇〇株）
求評会開催費 旅費	6,480	6,000		名古屋市—岐阜市 往復交通費 @1,620円×2人×2回
会場借上料	54,000	50,000		〇〇ホテル（名古屋市） @54,000円（半日）
印刷製本費	345,600	320,000		説明用チラシ作成費 @540円×200部 求評会案内状印刷 @324円×200部 開発商品紹介パンフレット @864×200部
成分分析費	216,000	200,000		

◎美濃農業 研究開発費 原材料費	1,728,000	1,600,000		試作品原料生産用肥料代 @10,800円×100kg 栽培土 @3,240円/kg×200kg
求評会開催費 旅費	6,480	6,000		名古屋市—岐阜市 往復交通費 @1,620円×2人×2回
合 計	3,533,760 B	3,270,000	2,180,000 A	

- 注1 支出の部の区分は、第2号様式—3に記載した事業内容（項目）ごとに記入してください。
- 2 助成事業に要する経費は消費税及び地方消費税込みの金額、助成対象経費は消費税及び地方消費税抜きの金額を記入してください。
- 3 積算の内訳が多岐になる場合は、必要に応じて別紙を作成して詳細に記入してください。
- 4 収入aと支出A、収入bと支出Bは金額が一致すること。
- 5 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者、それぞれに区別して作成願います。

次年度以降の事業計画

（単位：千円）

区 分	事業実施（予定）内容	売上高等の 具体的な 数値目標	上段：助成事業 に要する経費
			下段：助成申請 予定額
助成事業 終了後 1年目 (次年度) 平成29年度	<岐阜産業（株）> ・商品生産ラインの本格稼働 ・……………	当該商品売上高 4,000千円 総売上高 130,000千円	1,700千円
	<美濃農業> ・農業コンサルタントから指導を受け、〇〇の収量増加、品質安定化などの安定供給体制構築に取り組む。	〇〇（農産物） 売上高 2,000千円	1,133千円
2年目 平成30年度	<岐阜産業（株）> ・インターネットショッピングモール〇〇〇へ出店 ・各種見本市・展示会への出品・出展	当該商品売上高 6,000千円 総売上高 132,000千円	
	<美濃農業> ・引き続き、〇〇の安定供給体制構築に取り組む	〇〇売上高 3,000千円	
3年目 平成31年度	<岐阜産業（株）> ・各種見本市・展示会への出品・出展 ・……………	当該商品売上高 7,000千円 総売上高 133,000千円	
	<美濃農業> ・引き続き、〇〇の安定供給体制構築に取り組む。	〇〇売上高 3,500千円	
4年目 平成32年度	<岐阜産業（株）> ・自社ホームページでのインターネット販売開始 ・……………	当該商品売上高 8,000千円 総売上高 134,000千円 新規雇用1名	
	<美濃農業> ・〇〇の栽培面積の拡大（△△㎡→××㎡）	〇〇売上高 4,000千円	
5年目 平成33年度	<岐阜産業（株）> ・製品ラインアップの強化 ・……………	当該商品売上高 10,000千円 総売上高 140,000千円	
	<美濃農業> ・〇〇の更なる収量増加、品質向上に取り組む。	〇〇売上高 5,000千円	

- 注1 今回の助成事業終了後（次年度以降）の5年間の事業内容を記入してください。
- 2 具体的な数値目標には、売上高、新たな雇用者数、事業化の時期(新商品開発の場合)等を記入してください。
- 3 助成事業に要する経費、助成申請予定額は、助成対象事業期間が1年を超える場合（継続申請を予定している場合）、記入してください。
- 4 中小企業者（又は中小企業者以外の者）、農林漁業者ごとに作成願います。